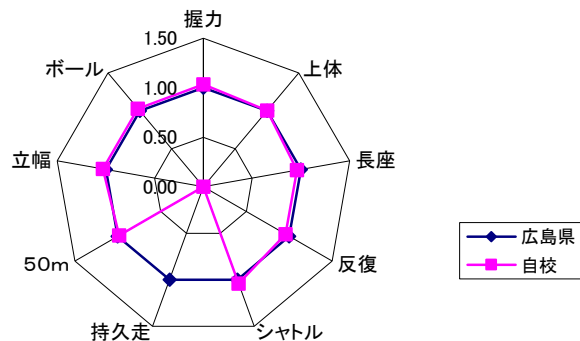


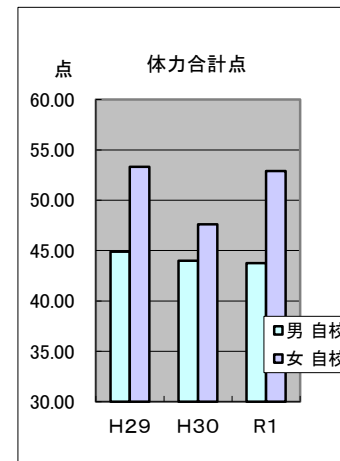
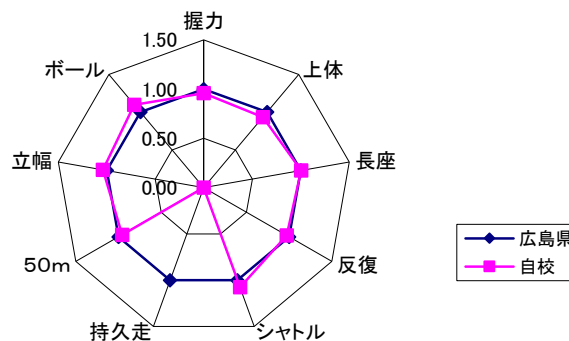
男子の体力合計点 学校 43.76点 県平均 44.04点

女子の体力合計点 学校 52.91点 県平均 52.57点

体力・運動能力調査比較(中2男子)



体力・運動能力調査比較(中2女子)



R1体力・運動能力調査の結果と分析

結果と分析 (全学年の状況も踏まえて記入すること)

- ① 50m走(呉市の課題種目)
 - ・2年生は男子では全国平均で0.22秒, 県平均で0.13秒, 女子では全国平均で0.48秒, 県平均で0.37秒下回る結果となった。
 - ・走る動作とスタートの技術が十分に身につけていないためだと思われる。
- ②(中学校区の課題種目)
 - ・2年生は, 男子では全国平均で+0.54m, 県平均で+0.63m上回り, 女子では全国平均で+1.23m, 県平均で+1.36mと県平均を上回った。
 - ・男女とも運動部に所属している生徒は例年よりが少ないが, 男子は筋力, 女子は瞬発力に優れており, 運動欲求が高いことも要因だと考えられる。
- ③(自校の課題種目)
 - ・2年生は, 全国平均と比較すると男子で+0.32回, 県平均で+0.08, 女子で-0.88回, 県平均で-1.68となっており, 男子は上回っているが, 女子は下回っている。
 - ・筋力・筋持久力を高める運動を継続して行う必要がある。

課題解決のための今後の取組及び数値目標

①呉市の課題種目 (50m走)	具体的な取組内容 ・保健体育の授業で, 筋力を高めるための運動を取り入れるとともに, 巧緻性を高める運動を積極的に取り入れる。 ・陸上競技の授業の指導で, スタートや中間疾走の姿勢を意識して指導を行う。
具体的な数値目標 (男子-0.3秒, 女子-0.3秒)	
②中学校区の課題種目 (ハンドボール投げ)	具体的な取組内容(中学校区で1つ以上共通の取組を設定) ・小中で連携し, 投げる動作を児童生徒の発達段階に合わせて習得できるように共通の運動を取り入れている。 ・小中一貫の特色を生かした交流を有効に使う, 中学生が小学生に教える機会を設定する。
具体的な数値目標 (男子+1m, 女子+2m)	
③自校の課題種目 (上体起こし)	具体的な取組内容 ・サーキットトレーニングを取り入れるなど, 筋力を高める運動を取り入れる。 ・保健体育科の授業で体幹を鍛える補強運動を継続的に行う。
具体的な数値目標 (男子+1回, 女子+2回)	

※ 具体的な数値目標(記録の伸びを数値化)